

2024年5月14日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健晴
(コード番号：東証スタンダード2134)
問合せ先 取締役 管理本部 総務部長 増田 智
(TEL. 06-4963-3106)
U R L <https://sun-capitalmanagement.co.jp>

通期連結業績予想の修正及び営業外損益、特別損益の計上に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日付け「令和5年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しておりました2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の通期連結業績予想を修正すること、及び2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)第4四半期において、営業外損益、特別損益を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	300	△113	8	11	円 銭 0.08
今回修正予想(B)	234	△330	△412	△489	円 銭 △3.49
増減額(B-A)	△66	△217	△420	△500	—
増減率(%)	△22.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	381	△482	△546	△904	円 銭 △7.82

2. 修正の理由

- (1) 売上高につきましては、当社のクリーンエネルギー事業において、太陽光発電並びにバイオマス発電に関するアレンジメント業務の受注や工事の受注が、2024年4月以降にずれ込んだこと等が主な要因で、今回の業績予想数値が前回発表予想数値を下回る結果となりました。
- (2) 営業利益及び経常利益につきましては、上記に加え、当社の在庫商品の評価見直しによる評価損失を計上したことで売上原価が増加し売上総利益が減少したこと、持分法による投資損失を計上したこと等が主な要因で、今回の業績予想数値が前回発表予想数値を下回る結果となりました。
- (3) 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、事業会社からの未収入金に対して貸倒引当金を計上したこと、保有する有形固定資産に対して減損損失を計上したこと等により特

別損失を計上したことが主な要因で、今回の業績予想数値が前回発表予想数値を下回る結果となりました。

3. 営業外収益の計上について

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）第4四半期において、受取配当金2,500千円を計上いたしました。

4. 営業外費用の計上について

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）第4四半期において、持分法による投資損失42,831千円を計上いたしました。また支払利息2,756千円を計上いたしました。

5. 特別利益の計上について

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）第4四半期において、関係会社株式売却益75,210千円を計上いたしました。また貸倒引当金戻入額28,205千円を計上いたしました。

6. 特別損失の計上について

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）第4四半期において、貸倒引当金繰入額90,000千円を計上いたしました。また減損損失75,056千円、訴訟損失引当金繰入額25,000千円、関係会社出資金評価損2,280千円を計上いたしました。

なお、今回の予想数値の修正及び営業外損益、特別損益の計上につきましては、当社及び当社会計監査人との間で十分な協議を重ねた結果、決定したものです。

以上